

# あいま号

〒246-0022  
 横浜市瀬谷区三ツ境  
 83-7  
 株式会社アイシマ  
 TEL045-360-6021

今月は、  
 あいしま看護部  
 綿貫部長からの  
 お話です。

看護部長の綿貫です。  
 アイシマに来てから1年  
 8ヶ月になりました。

いままで県立病院6箇所、  
 看護学校3箇所と、福祉の世  
 界はほとんど知らない状況  
 の中で過ごしてきました。

唯一こども医療センター  
 の福祉施設や看護学校に在  
 籍していたときにカリキュ  
 ラムの変更や授業・実習の依  
 頼のために福祉に関する学  
 習をしました。が、実際に関わ  
 る事は無いに等しいと言え  
 ます。



アイシマにきて初めて福  
 祉施設を中心にした会社で  
 の仕事をする事になりました。

した。  
 よくわからない組織の同  
 行・集団の中で、看護部長の  
 役割は何かを模索し続け、看  
 護業務指針、マニュアルの作  
 成、介護保険を深化する中で  
 病院や看護学校の管理との  
 違いを明確にしてきました。

福祉施設全体の医療、看護  
 を担ってゆくには何が必要  
 か、わき目も振らずにただ前  
 進し続けてきました。

やっと、方向性が見えたこ  
 ろででしょうか、少し明るく  
 なったかなと思っています。

まだ2年未満なのに、ちょ  
 うど新卒の採用者が1年2  
 年たつころには「バーンアウ  
 トになる」ということが身を  
 もってわかりました。

いま、アイシマの施設だけ  
 でなく、地域の高齢化が進み、  
 医療を必要とされる方が多  
 く、医療との密接な連携が不  
 可欠の状態です。そこで、医  
 療福祉連携室を立ち上げ、入  
 居審査会や医療と福祉の密  
 接な連携、関連クリニックだ  
 けでなく、医療法人社団鵬友

会との連携の強化を図るこ  
 とで、介護者の安心、不安の  
 解消とともに利便性と効率  
 化を図れたと考えています。



また、アイシマに必要なこと  
 は、看護だけでなく介護職員  
 の人材(財)の育成が急務で  
 あると考えます。安全で、安  
 心な倫理的配慮を兼ね備え  
 たケアのできる任せられる

人材の確保、管理者研修・教  
 育研修会・外部研修・介護職  
 員養成研修などを通し、職員  
 全体が成長し続けられるよ  
 う継続した学習ができるよ  
 う取り組んでゆきたいと思  
 います。

23年3月には訪問看護  
 師のインターシップを開催  
 し、訪問看護について理解し  
 ていただくこと。地域の中で  
 眠っている看護人材の掘り  
 起こしをと考えています。

アイシマの訪問看護ステ  
 ーションは3箇所ですが、看  
 護師の人材は病院より不足  
 している状況です。訪問看護  
 をしっかり理解していただ  
 くことからはじめてゆきた  
 いと思っています。

介護との連携をより密に  
 した、健康で豊かな知識と技  
 術、心から看護を愛し、コミ  
 ュニケーションを大切に楽  
 しく働くことができる。そん  
 な職場環境を作つてゆくこ  
 とが大切であると考えてい  
 ます。

看護部は、アイシマの利用  
 者様やその家族及び職員の  
 皆様のお役に立てるべく努  
 力を惜しまないつもりです。  
 いつでも、お気軽においでく  
 ださい。



第二施設課

甲斐課長からの  
お話です。

暖かくなり、皆様お変わりなくお過ごしになられているかと思えます。いつもお世話になり、御礼を申し上げます。

本来ならば、文頭に明るく挨拶を入れ、皆様にお伝えしたいのですが、今回、3月11日東北地方太平洋沖地震という大きな地震がありました。私はニュースなどの映像でしか知る事ができておりませんが、十分にその状況が伝わりました。現在も様々な苦労がある中で被災地の方々、また被災地に知人などいらつしやる方へ心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。また、微力ながら当社にできる事、自分のできる事を考え、復興のためご協力ができればと思っております。

私は第二施設課の課長をさせていただいております甲斐貴史と申します。現在、ゆうあいの管理者をやらせていただいている中で、きずな、ずうずう、はなもも、あいらんど、ほのぼの、ひめしやらの7施設を担当しております。

現在の役職に就き2年と半年が過ぎようとしています。日々勉強の日がまだまだ続いており、入居者様のご家族の皆様には常に支えられていると実感しております。

昨年度にはヘルパーの学校も開校しその中でも講師を務め、自分自身も大変良い経験をさせていただきました。今年もまた5月より開校いたしますので、昨年度の経験を生かして、講師をつとめて行きたいと思えます。

そういった経験の中で課長という役職、自分が担う事の出来る業務を積極的にを行い、入居者様の生活

が少しでも向上するように日々頑張りたいと思っております。



ゆうあいの管理者としては、入居者様も18名、

入院されている方もなく皆元気に過ごされています。昨年の12月にはクリスマス会・今年に入ってはひな祭りなどを行い、皆様多くの笑顔が見られました。

職員も介護に関する資格を取に行くなど、積極的な姿勢が見られるようになりました。今年には介護福祉士2名合格、ヘルパー2級3名取得など大変喜ばしく思っております。

ホームでの良いところ、はゆうあいだけではなく、他のホームにも伝え見本となるよう、そして皆様にも「ゆうあいは良いところだね」と言っていただけ

るよう職員一同頑張っていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

短い挨拶ではありませんが、今後とも施設課をよろしくお願い致します。

また、東北の方々には一日も早く復興され多くの笑顔が見られることを心より願っております。

東北地方太平洋沖地震

義援金で復興のお手伝い

この度の震災で不安な日々をお過ごしの方々に心よりお見舞いを申し上げます。

㈱アイシマでは被災された方々に少しでも復興の助けにさせていただければと、職員で義援金を募り、会社からの義援金を含め日本赤十字社へ義援金30万円をお送り致しました。

一日でも早く安心できる日々を取り戻せるよう職員一同願っております。

中華レストラン 風の音

車椅子・特別食にも対応のレストランです



☆横浜市瀬谷区三ツ境159の10

☆風は10時30分〜15時

☆週替わりランチメニューあり

☆夜は17時〜21時30分

(ラストオーダー21時)

☆定休日：毎週水曜日

☆毎週火曜日レディースデー

☆風の音 045・369・0522

☆10名様以上コース料理ご予約で宴会場(カラオケ設備あり)をご利用いただけます。

ただけです。

☆混みあっている場合がありますので電話でご予約をお勧めします

編集後記

春になり、我が家の亀さん、とうとう冬眠から目覚めました。

私の後を追いつく右へ左へ。

15cm以上もある大きな

体で「ガコンガコン」と水槽の壁に体当たり。

なついでいて喜ぶべきだろうけど・夜中はちょっとやかましい(泣)

(み)